

# 「ソーシャルワーク講座・第14期」

2015年5月17日(日)・2015年6月21日(日)

2015年5月17日(日) 12:30~14:30

テーマ①

## 「少年の暴力をどう考えるか」

～非行少年たちとの関わりの中で～

寺出 壽美子 (ソーシャルワーカー)



1テーマからでも  
受講可能です!!

2015年5月17日(日) 14:50~16:50

テーマ②

## 「川崎市中1男子殺害事件」

～「ある」が内在化されない子どもたち～

芹沢 俊介 (社会評論家)

2015年6月21日(日) 12:30~14:30

テーマ③

## 「石川憲彦さんの実際の『治療』を聞いてみよう」

～うつ病編～

石川憲彦 (児童精神科医)

2015年6月21日(日) 14:50~16:50

テーマ④

## 「自閉症スペクトラム・AD/HDの<sup>いま</sup>現在」

～子どもや青年たちへの真のサポートとは何か～

関 正樹 (児童精神科医)

### <お申し込み方法など>

受講料：◆一般：1講座3,800円、全4講座12,000円

◆学生割引(25歳未満)及び職場団体割引(5名以上)：1講座1,800円、全4講座6,000円

◆学校団体割引(5名以上)：1講座1,700円、全4講座5,800円

振込先：みずほ銀行 成城支店 普通 8045776 特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会

定員：50名

お申し込み：申込用紙をお持ちでない方は、電話かメール(Email: swkoza@jcsw.jp)にてご連絡ください。申込用紙をお送りいたします。当協会のHP(<http://www.jcsw.jp/>)からダウンロードすることも可能です。郵便、FAX、メール等にて事務局宛にご送付ください。申込書のご送付後、10日以内に受講料のお振込みをお願いいたします。お振込みを事務局にて確認させていただいた時点で、受付完了となります。受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。

スケジュール：1テーマにつき120分(講義90分、休憩10分、質疑応答等20分)

会場：砧総合支所4階 集会室(小田急線「成城学園前」駅下車。徒歩3分)

# ソーシャルワーク講座・第14期

本講座は、興味をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。

これから子どもや家族にかかわろうとしている方や、すでに現場で活動されている皆さまのご参加をお待ちしております。

## 日本子どもソーシャルワーク協会のソーシャルワーク事業

- 「ユースワーカー」派遣：不登校やひきこもり、発達障がい等の子どもに寄り添う訪問事業です。
  - 「ケアワーカー」派遣：養育困難家庭やひとり親家庭での育児・家事のサポートをすることにより、親子を支える訪問事業です。
  - 「びあすぽ」事業：事件を起こした少年に就学・就労・生活の自立等のサポートをすることにより、立ち直りを支える事業です。
- ※ 上記のソーシャルワークの現場をご用意しております。現在も、多くの学生さんや主婦、社会人の方に、ご活躍いただいております。
- 講座後、興味のある方は、ぜひワーカー活動にお申込みください（ワーカー活動は有償です）。

## 【講師のご紹介】

### ◇寺出壽美子（ソーシャルワーカー）テーマ①

1947年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。教員、子どもの本屋店長、学習塾代表、児童養護施設施設長などを経て、現在、NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長、東邦大学薬学部非常勤講師。虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、家庭内暴力、少年事件など、多岐にわたる分野で、子どもと親への面接相談や、支援に従事している。共著に『家庭訪問型子育て支援』（明石書店）、調査研究報告書に「東京・神奈川・埼玉のひとり親家庭ホームヘルプサービス事業に関する支援状況」「世田谷区における養育困難家庭の実態調査報告書」「ひきこもりという希望」がある。

### ◇芹沢俊介（社会評論家）テーマ②

1942年生まれ。上智大学経済学部卒業。文芸・教育・家族など幅広い分野の評論活動を行っている。現代の家族や学校の切実な課題、子どもたちの問題を独自の視点で捉えている。主な著書に『引きこもるといふ情熱』、『存在論的ひきこもり論』、『殺し殺されることの彼方』（高岡健氏との共著）（雲母書房）『いじめが終わるとき』（言視舎）『母という暴力』（春秋社）『親殺し』（NTT出版）『孤独から考える秋葉原無差別殺傷事件』（高岡健氏との共著）、『家族という絆が断たれるとき』（批評社）『家族という意志』（岩波書店）『子どものための親子論』、『養育事典』（明石書店）などがある。

### ◇石川憲彦（児童精神科医）テーマ③

1946年生まれ。東京大学医学部卒。小児科医・精神科医として、障がいを持つ子どもやその親たちと「医療と教育を考える会」を結成し活動。1994年マルタ大学で社会医学的調査を開始し、帰国後は、静岡大学保健管理センターで同所長、教授などを歴任。2004年、目黒区に林試の森クリニックを開業。主な著書に『こども、こころ学』、『みまもることば』（ジャパンマニシスト社）『発達障害という希望』（雲母書房、高岡健氏との共著）『キレル子と叱りすぎる親』（創成社）がある。

### ◇関正樹（児童精神科医）テーマ④

1977年生まれ。平成15年に福井医科大学を卒業後、岐阜大学精神科に入局。平成16年より岐阜県東濃地方を中心に地域の児童精神科医として臨床を重ねる。平成19年より大湫病院に勤務。

【会場のご案内】 砧総合支所 4階 集会室

東京都世田谷区成城 6-2-1

（小田急線「成城学園前」駅下車。中央口から徒歩3分）

お問合せは…

NPO 法人 日本子どもソーシャルワーク協会 事務局

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-29-12

TEL:03-5727-2133 FAX:03-3416-6994

講座に関するお問合せ、お申し込みは、E-mail : [swkoza@icsw.jp](mailto:swkoza@icsw.jp) まで

その他のお問合せは、E-mail : [kodomo-sw@icsw.jp](mailto:kodomo-sw@icsw.jp) まで

HP : <http://www.icsw.jp/>（申込用紙のダウンロードはこちらから）

